



校訓
自主
創造
協力



令和3年6月29日(火)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
- ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
- ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

高校・高等専門学校・各種学校入試の仕組みを知ろう！

期末考査が終わりました。自分のもてる力は発揮できましたか。中学校卒業後は、自分自身の手で、未来を切り開いていかなければいけません。3年生は進路決定の年です。ここでは、入試などの仕組みについて一般的な内容を掲載します(すべての手続きが下記のようなものとは限りません。高校によって異なりますので、その時期が来たら先生からしっかり聞いてください)。

① 私立高校

<推薦入試>	<一般入試>
① 志願理由書(本人・保護者)を担当に提出 ② 校内推薦委員会で決定 ③ 願書提出(私立高校の推薦は1校のみ) *面接・作文練習などがあります。 ④ 推薦入試(1月下旬) →合格:すぐに手続きが必要です。必ずその私立高校に進学します。 →不合格:再受験する場合、受験料は不要な学校もあります。私立・公立高校の一般入試を受験できます。 ○ 1月中に進路先が決定します。 ○ 高校毎に推薦の基準があります。 ○ 2ヶ月の中学校生活を残しており、学習面の努力も必要です。また、生活態度などが悪ければ、合格を取り消されることがあります。	① 願書提出 ② 一般入試(北九州地区は3日間実施) →合格:合格した高校の中から、入学金の一部を払うことで、入学予約ができます。公立高校を受検できます。 →不合格:合格した高校に入学金の一部を払います。公立高校を受検できます。 ○ 特待生制度などがあり、成績が良ければ授業料、入学金が免除されることがあります。 ○ 公立高校・国立高専入試へ向けて、自分の実力の判断となります。 ○ 公立高校の受検に関して、何も制約はありません。 ○ 例年北九州市内の私立高校は日程的に3校まで受験できます。 ○ 入学金、または入学予約金(一次手続き)が必要です。この金額については、各高校で異なります。その私立高校に進学しなくても、予約金は戻ってきません。



② 公立高校

<推薦入試>	<一般入試>
① 志願理由書(本人・保護者)を担当に提出 ② 校内推薦委員会で決定 ③ 願書提出(公立高校の推薦は1校のみ) ④ 推薦入試(2月上旬) →合格内定:必ずその公立高校に進学します。入学辞退はできません。 →不合格:公立高校一般入試を受検できます。	① 願書提出(私立高校推薦入試合格者、高専推薦入試合格者は提出できません。) ② 入試(3月中旬) *全日制・定時制とも同日入試 →合格:原則合格した公立高校に進学します。 →不合格:入学予約した私立高校に進学します。補充募集は、定員割れした高校が行います

受検せず、私立高校へ進学する人もいます。
 ○ 2月中に進路先が内定します。
 ○ それぞれの高校で推薦の基準があります。
 ○ 合格は内定であり、決定ではありません。1ヶ月の中学校生活を残しており、学習面の努力も必要です。また、生活態度などが悪ければ、合格を取り消されることがあります。
 ○ 入試は主に、作文、面接、実技です。

が、市内はほとんどありません。定員割れがなければ、定時制でも二次募集はありません。
 ○ 受検は1校のみです。
 ○ 個性重視の特別試験(面接、実技等)が実施される高校があります。

③ 高等専門学校(高専)

<推薦入試>	<一般入試>
① 志願理由書(本人・保護者)を担当に提出 ② 校内推薦委員会で決定 ③ 願書提出(高専の推薦は1校のみ) *面接・作文練習などがあります。 ④ 推薦入試(1月下旬) →合格内定:必ずその高専に進学します。入学辞退はできません。 →不合格:高専・公立高校の一般入試を受検します。高専や公立高校を受検せず、私立高校へ進学する人もいます。 ○ 1月中に進路先が決定します。 ○ 推薦の基準があります。 ○ 合格は内定であり、決定ではありません。2ヶ月の中学校生活を残しており、学習面の努力も必要です。また、生活態度などが悪ければ、合格を取り消されることがあります。	① 願書提出(私立高校推薦合格者は提出できません。) ② 入試(例年、2月の第3日曜日に実施されることが多いようです) →合格:合格した場合、入学希望者の登校は公立高校の入試日と同日ですので、公立高校の受検はできません。 →不合格:公立高校の一般入試を受検します。公立高校を受検せず、私立高校へ進学する人もいます。 ○ 公立高校推薦入試に合格が内定した場合は、受検手続きをしていても受検できません。

④ 職業訓練校・専修学校・高等技術専門学校

<入試>
① 進学の希望を担当に連絡してください ② 願書提出 *面接練習などがあります。 ③ 入試 →合格:通常4月1日付での入学となります。事前に学校説明のため登校することもあります。 →不合格:他の職業訓練校・専修学校や高校を受験できます。 ○ 専修学校卒業後、専門学校でさらに上級の資格を取ることができます。 ○ 私立高校・公立高校も受験できます。 ○ 学校によっては高校卒業と同じ資格を得ることができます。(高校卒業ではありません) ○ 北九州市立戸畑高等専修学校については、来年度から募集はありません。



⑤ 就職

<手続きなど>
① 就職の希望を担当に連絡してください。 ② ハローワーク<公共職業安定所(職安)>に連絡 ③ 願書または履歴書などを提出 *面接練習などがあります。 ④ 適性検査・面接など →就職内定:4月1日付での入社となります。事前に会社説明のため出社します。 →不採用:次の就職先を探します。(補充募集をしている高校や職業訓練校、専門学校があれば受験して進学することができます)



*本内容は一般的な入試や手続きの内容です。3年生は受験先高校の募集要項に従いましょう。

令和4年度福岡県立高等学校入学者選抜日程(定時制単位制課程入学者選抜日程を含む。)

※ 日程は、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、変更になる場合があります。

1 一般入学者選抜に関する日程(定時制単位制課程は、前期Ⅱ期入学試験に関する日程)

事 項	令和4年度入試
学区外高等学校入学志願申請受付	2月3日(木)～2月28日(月)正午
入学願書受付	2月14日(月)～2月21日(月)正午 (学区外からの志願者については2月28日(月)正午)
志願先変更受付	2月22日(火)～2月28日(月)正午
学力検査	3月8日(火)
※個性重視の特別試験(実施校のみ)	3月8日(火)学力検査終了後、もしくは3月9日(水)
合格者発表	3月16日(水)午前9時

2 推薦入学者選抜に関する日程(定時制単位制課程は、前期Ⅰ期入学試験に関する日程)

事 項	令和4年度入試
入学願書受付	1月31日(月)～2月3日(木)正午
面接・作文・実技試験	2月7日(月)2月8日(火)
合格内定通知	2月14日(月)午前9時
合格者発表	3月16日(水)午前9時

3 特色化選抜に関する日程(実施校のみ)

事 項	令和4年度入試
入学願書受付	1月18日(火)～1月24日(月)正午
面接・作文・実技試験	1月26日(水)1月27日(木)
合格内定通知	1月31日(月)午前9時
合格者発表	3月16日(水)午前9時

4 帰国生徒等特別学力検査に関する日程(実施校のみ)

事 項	令和4年度入試
入学願書受付	1月18日(火)～1月24日(月)正午
学力検査	1月26日(水)
合格内定通知	1月31日(月)午前9時
合格者発表	3月16日(水)午前9時

5 全日制補充募集に関する日程

事 項	令和4年度入試
入学願書受付	3月17日(木)～3月22日(火)正午
面接(作文)	3月23日(水)
合格者発表	3月25日(金)午前9時

6 定時制単位制課程前期転・編入学試験に関する日程

事 項	令和4年度入試
入学願書受付	3月11日(金)～3月17日(木)正午
学力検査・面接	3月23日(水)
合格者発表	3月28日(月)午前9時

7 定時制単位制課程後期試験に関する日程

別途公表予定

※ 参考 福岡県ホームページ 福岡県トップページ⇒福岡県教育委員会⇒高校教育課

※ 県立高校の詳細は下記を参考にしてください。

福岡県トップページ > 教育・文化・スポーツ > 学校教育 > 高校教育 > 令和3年度入学生用 福岡県立高等学校・中高一貫教育校案内「展望」*以下、一部掲載

第1章 高校教育の制度

高等学校(以下「高校」といいます。)には、学習形態(学習時間、修業年限、学習方法等)の違いにより全日制課程、定時制課程、通信制課程の3つの課程があります。どの課程で学習するにしても、高校教育は義務教育とはいろいろな点で大きく異なっています。その主なものを紹介します。

1 学習内容の分化・高度化

高校では、中学校での学習を基礎として、より分化・高度化した教科・科目を学習します。さらに、小・中学校ではすべての児童生徒がほぼ共通の教科を学習しますが、高校では教科・科目の選択幅が広がり、学科やコース、類型によって学習する教科・科目や内容が大幅に異なるなど、それぞれの専門性を高める内容になっています。

2 進級・卒業

進級・卒業するには、各高校で定められた教科・科目を履修し、単位を修得することが条件となります。単位とは、教科・科目などの学習の量を示す基準のことで、高校では、50分の授業を1年間に35回受けて、1単位とされます。例えば、「国語総合」という科目が年間を通して1週間に4時間(4時間×35回=年間140時間)の授業が行われる場合には「4単位」となります。その単位を修得するためには、出席時数や定期テストの成績、論述やレポートなどが、あらかじめ定められている基準に達していることが必要であり、その基準に達したと認められれば、「国語総合」の例でいえば「4単位修得」ということとなります。卒業するために必要な総単位数は高校ごとに定められており、卒業が認められるためには定められた教科・科目を履修し、定められた単位を修得しなければなりません。